

# 関中だより

令和2年  
1月17日  
第30号  
(文責 花岡)

## 地震について考える日

今日は、阪神淡路大震災が起こった日です。生徒のみなさんは経験していませんが、保護者の方はまだ記憶に残っているのではないのでしょうか。当時の様子を子どもさんと共有し、家の家具の点検や備蓄について話をしていただけだと思います。

東南海地震が来ると言われていますが、直下型の地震も過去に三重県で起こっているようです。過去に学ぶために、ネットに阪神淡路大震災の体験記がありましたので、これで、揺れのすごさをもう一度確認できればと思います。

## 神戸市東灘区で体験した阪神淡路大震災の記憶

明け方近く、トイレに行きたくなって、ウツラウツラしていた。突然、六甲山側の窓が曇りガラスと障子越しに、強烈に真っ白に光った。それと同時に地面の下を遠くから列車が、大轟音でむかってくるような感じがした。その時、もう身体は上下左右に跳ね上げられ、振り落とされていった。わくわくと言う無意識の叫びが自分の体から発せられていた。

その間これほどでもない地震だ、家が潰れて自分はこのまま死ぬかと思っていた。気がつく、ダンスの下敷きになってもがいていた。無意識に隣に寝ていた妻の上に覆い被さっていたらしいがそれは後で聞いた。

家の中の立っている全ての家具、電気製品が倒れていく音を聞いたと思うが、記憶にないのは何故だか分からない。シーンと何も聞こえない時間が長かった。引続き同じような大ききの揺れと思える余震が次々と来た。



この日以降、余震の揺れが来るたびに身体が硬直し、心臓が痛くなる状態は治らなかつた。

真つ暗だった。突然妻が叫んだ、「子どもたちを見てきて」。長女の部屋に向かいながら、名前を呼ぶが声が届いてこない。部屋へ行く途中にある台所は、タナゴを入れていた水槽が床に落ち、割れて水浸しになり、食器戸棚が倒れ、ガラスが散乱し斜めになった戸棚が邪魔して、娘の所に行けない。

もう一度大きく声を張り上げて呼ぶと、「大丈夫怪我はしていない、何が起きたの」という声が小さく聞こえた。その声をきいてすぐ、一階の母と次女の方へ階段を降りた。幸いにも母は本棚がベッドで斜めに止まり、次女はキヤスター付のベッドのお陰で横揺れと同じサイクルで揺れ、ほとんど落下物の下敷きにならず、ピアノも倒れたがベッドの場所を外れ、怪我はなく無事だった。

懐中電灯が次女の部屋で見つかり、家の中の状態がその光の範囲で見えた。長女は、部屋のドアにダンスが倒れ込んでなかなか開かず気がもんだが、自分一人這い出る隙間をなんとか作り、犬のタローと一緒に這い出してきた。出てくるとすぐ長女がこう話した。

「タローが少し前からうーつという唸り声を出していて、このあいだからネズミが沢山家に入り込んで来ているから、またネズミが騒いでいるので、唸っているのかと思った。それで静かにしなさいって、寝ぼけながら怒ったら一回静かになった。そのまま寝込んだら、暫くして今度はもっと大きな唸り声を出したから、ユラユラするさといって怒りながらベッドから起き上がった。腕の中にタローが飛び込んできた。

その瞬間、ベッドの上で身体が揺れて何がなんだか解らなくなつた。気がついたらさっきまで寝ていた枕の所に、上の棚にあったテレビが落ちていた。タローが騒いでくれなかつたら顔の上にテレビが落ちていた」

(STORIES JP キーホームページより引用)



神戸商業高校の当時の廊下の様子です

## 「私の可能性に気づく」講演会の感想 その1

・ぼくは卓卓さんの講演会がなければ、自分の可能性に気づくことはできなかったらと思う。

・頭でがんばろうと思つて指をつけるより、大切なものを思い浮かべながら指をつける方が強い力をつけることができることが実感できた。

・自分の中の力を引き出すためには、それぞれの意識を置く場所を使い分ける必要があるとわかった。入試のときにもこれを使い分けて、全ての力を出し切れたらいいなと思った。

・善戦から「勉強しよう！」と思つていても実際に行動に移そうとするとできないことがよくあり、悩んでいたことでもありません。しかし、今日の講演会で、少し変えるだけで自分自身は変わることができるというのを聞いてプラス思考に変えて取り組んでいきたい。

・自分を大切にすることは相手を大切にすることと一緒と教えてもらい、自分のことも大切にしながら相手のことを考えていこうと思った。

・これから先、何かに行きづまったら少し考え方を改めて行動していきたいなと思いました。

・少し意識をするだけで、身の回りのことが良くも悪くも変わってしまうことを知った。良い結果になるような意識の仕方をしていこうと思う。

・本当の自分の気持ちを理解することができてよかったと思う。

・自分の意識をどこに置くかだけで、あんなにパワーがもらえることがわかった。

・私も自信をつけて、不安な時は自分に大丈夫やありがどうと声をかけておちつこうと思いました。

下のQRコードを読み込むと学校のホームページに行けます

